

豊橋市 市民意識調査 (平成30年度調査)

1. 調査の目的

この調査は、市民と行政が一体となったまちづくりを推進するにあたり、市民の皆様の貴重なご意見やご要望をお聞きし、明日の豊橋市のまちづくりに反映させることを目的として実施しております。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域：豊橋市全域
- (2) 調査対象：市内在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数：5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法：設問紙にもとづく郵送法
- (6) 調査期間：平成30年7月10日(火)～7月31日(火)

3. 調査項目

- (1) 豊橋市に対する愛着度と自慢度について
- (2) 中心市街地の活性化について
- (3) 三遠南信地域について
- (4) 地産地消の推進について
- (5) 多文化共生について
- (6) 自殺対策について
- (7) 受動喫煙について

- (8) 生涯スポーツの推進について
- (9) 障害者差別解消法について
- (10) 市民文化会館のホールの利用状況について
- (11) 新たな時代における図書館サービスのあり方について
- (12) インターネット等を利用した行政サービスについて
- (13) 下水道事業について
- (14) 防災対策について
- (15) お住まいの地震対策について
- (16) 地域の生活環境について
- (17) あなたご自身について

4. 調査機関

公益社団法人 東三河地域研究センター

5. 回収結果

- (1) 回収数：2,421人
- (2) 有効標本回収数：2,417人(全問無回答及び属性のみ回答の標本は無効とする)
- (3) 有効標本回収率：48.3%

豊橋市 市民意識調査 (平成30年度調査)

I. 豊橋市に対する愛着度と自慢度について

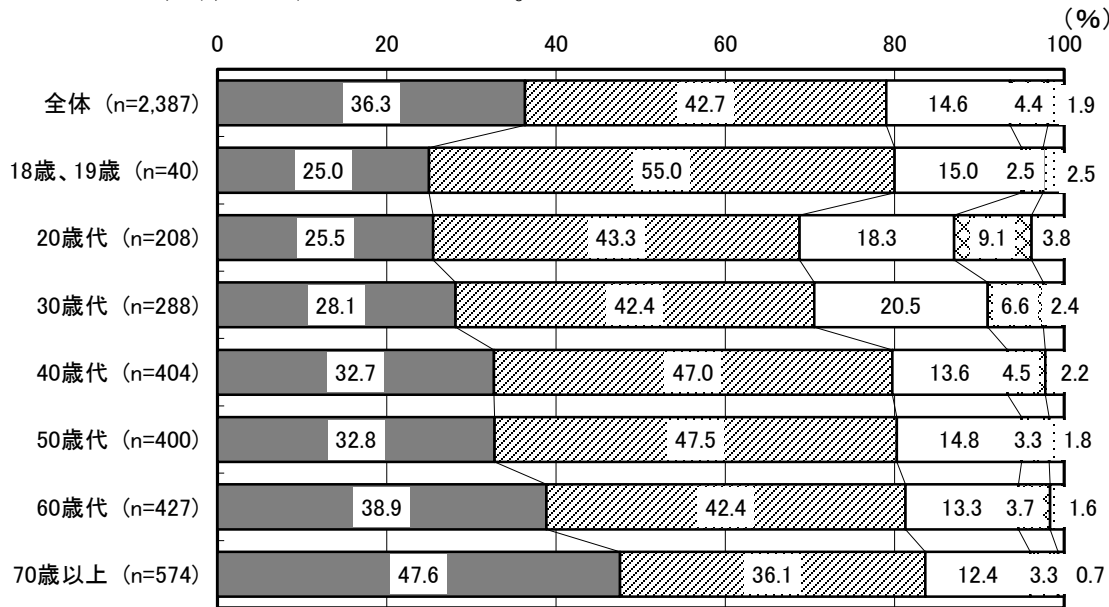
【問1】あなたは豊橋市に対して愛着がありますか。(n=2,387)

(1) 全体的傾向

「豊橋市への愛着」について、「とても愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた、「愛着がある」と回答した人の割合が約79%で、「あまり愛着がない」と「愛着がない」を合わせた「愛着がない」と回答した人の割合が約6%となっている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳と50歳代以上で、「とても愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた「愛着がある」と回答した人の割合が80%を超えている。



とても愛着がある
 やや愛着がある
 どちらでもない
 あまり愛着がない
 愛着がない

市民意識調査報告書

(第49回・平成30年度)

豊橋市

豊橋市 市民意識調査
～あすのまちづくりにあなたの声を～

皆様から住みよいまちづくりにご協力いただきまして、深く感謝いたします。
この市民意識調査は、市民と行政が一体となったまちづくりを推進するにあたり、市民の世帯の貴重なご意見やご意見を基盤として、明日の豊橋市のまちづくりに反映させることを目的に、昭和45年から毎年実施しております。
この調査の実施にあたり、市内在住で18歳以上の方の中から無作為に5,000人の方を選ばせていただきました。お住いところごとにお手数ですが、調査の厳密をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。
平成30年7月
豊橋市長 佐原 光一

回答方法が2つあります

「紙」回答

① このアンケート用紙に直接記入してください。
② 同封の返信用封筒でご返送ください。
③ 回答は特に指定のない限り、該当する番号を○で囲むか、指印の欄に番号を記入してください。

「Web」回答
パソコン・スマートフォン

裏面1頁「Web回答される方へのご案内」をご覧ください。

お願い

個人の意見は会社名や店名など、あなたのご意見をありのままご記入ください。
 ご本人(関係の協名人)による回答が難しい場合は、ご家族のどなたかご回答くださるようお願いいたします。
 このアンケートは、**平成30年7月31日(火)まで**にご回答ください。